

令和7年度 大型車の車輪脱落事故防止啓発活動

令和8年9月16日
一般社団法人日本自動車タイヤ協会

1. 自工会作成ポスターの配布

自工会作成ポスターを会員各社の流通網を用いて、
タイヤ取扱店へ配布。

自工会作成ポスター



また、自工会作成動画や漫画資料を講習会等にて、
紹介・活用。

2. 独自啓発チラシの再周知



事故を防止する上で、特に重要と考えられること

- ・大型車使用者 ⇒ タイヤ交換後の増し締め
- ・タイヤ交換作業業者 ⇒ 適正作業 (清掃・点検、著しい錆や損傷があるものの交換、潤滑剤の塗布等)



啓発チラシを作成し、啓発。

- ・令和3年
大型使用者向け(増し締め)
- ・令和4年
タイヤ交換作業業者向け(適正作業)



夏用タイヤから冬用タイヤへの交換時期に
合わせ、ニュースリリースを発信し、**両チラシ**
の再周知及び啓発を実施。

展開先：タイヤ・ゴム関連プレス、タイヤ取扱店

大型車の車輪脱落事故防止について
一啓発チラシ、ホームページを活用した啓発活動ー

国土交通省の発表によると令和6年度の大型車の車輪脱落事故件数は120件と依然として多くの事故が発生しております。
車輪脱落事故を防止するためには、タイヤ交換作業時の適正作業及びタイヤ交換後の増し締めの実施が重要です。
当会では、適正作業や増し締めの実施を啓発するチラシを作成・展開している他、ホームページに「大型車車輪脱落事故防止に関する情報」として、当会並びに国土交通省、関係団体による啓発資料等をまとめて掲載したページを作成するなど、情報提供及び啓発に努めております。
夏用タイヤから冬用タイヤへの交換時期に当たり、本チラシやホームページを活用するなどし、車輪脱落事故の発生を防止しましょう。

大型車の車輪脱落事故防止対策啓発チラシ
タイヤ交換作業業者向け「適正作業啓発チラシ」
運送事業者及び大型車使用者向け「増し締め啓発チラシ」

本チラシは、右記QRコード及び下記URLよりダウンロードして使用いただけます。
【https://www.jatma.or.jp/safety_technology/tyre_safety_news.html】

大型車の車輪脱落事故防止に関する情報ページ

リンクQRコード

本件に関するお問い合わせ先
一般社団法人日本自動車タイヤ協会 技術部：柴田、西堀
電話：03-3435-9092 FAX：03-3435-9097

以上

3. 車輪脱落事故防止に関する情報ページによる 情報提供



当会ホームページに、
国交省、自工会、全ト協、
当会 などがそれぞれ作成
した啓発ツールを必要な
人が包括的に入手できる
ページを設けており、
今年度は、当ページの
認知度アップを図った。

JATMA 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

> サイトマップ > 委員専用ページ 会員専用ページ English

JATMAについて 日本のタイヤ産業 安全・技術・規格 環境・リサイクル タイヤとユーザー 統計 刊行物

Home > 安全・技術・規格 > 大型車車輪脱落事故防止に関する情報

安全・技術・規格

- タイヤ点検
- 整備関連情報（作業・販売店向け）
- 大型車車輪脱落事故防止に関する情報
- タイヤリコール制度
- タイヤ安全啓発資料
- タイヤの性能と技術
- タイヤの規格

大型車車輪脱落事故防止に関する情報

Index

- 国土交通省からの緊急対策の要請
- 当会、官公庁、関係団体による啓発資料等
 - (1) タイヤ脱着作業管理表、日常点検表フォーマット
 - (2) 啓発動画
 - (3) 啓発チラシ、リーフレット
 - (4) 啓発ページ
- 大型車ホイールの新・ISO方式化

1. 国土交通省からの緊急対策の要請

大型車の車輪脱落事故が依然として多く発生していることを受け、国土交通省自動車局整備課長等から当会に対し、別紙「大型車の車輪脱落事故に係る令和5年度緊急対策の実施について」（令和5年9月29日付 国自整第122号の2等）の通知がございました。

令和4年度の事故発生件数は140件と依然として多く発生している状況であり、この事実は、重く受け止めなければなりません。

つきましては、タイヤ取扱店等においては、下記事項の確実な実施をお願い申し上げます。また、タイヤ販売会社等においては、取引のあるタイヤ取扱店等に対し、下記事項の確実な実施を周知頂く様、お願い申し上げます。

記

- インパクトレンチを用いてホイール・ナットを締め付ける際は、締め過ぎに注意し、最後にレンチ等を使用して必ず規定で締め付けること。
- ホイール・ナットの規定クワでの締め付け及びホイールに適合したボルト、ナットを使用すること。
特に、脱落の多い左側後輪や積雪地域、舗装されていない道路を走行する大型車について、重点的に確認すること。

4. タイヤ専門紙への広告掲載



履き替えシーズンの啓発活動として、タイヤ専門紙「週刊タイヤ新報(令和7年10月27日号)」に当会作成ポスターを全面広告として掲載。

第2518号 (第3編第10号) 週刊タイヤ新報 2025年(令和7年)10月27日(月曜日) (6)

一般社団法人日本自動車タイヤ協会からのお知らせ

国土交通省の発表によると令和6年度大型車の車輪脱落事故件数は、120件(うち3件は人身事故)と前年度より22件減少したものの、依然として多くの事故が発生しております。夏用タイヤから冬用タイヤへの履き替え時期に当たり、下記を確認し、適正作業の実施をお願いいたします。

タイヤ交換作業者のみなさまへ

車輪脱落事故は“死亡事故”につながる可能性があります!

適正な脱落防止にはタイヤ交換作業が必要です!

1 ボルト、ナット、ホイールの清掃・点検

・清掃後、著しい錆や損傷(変形、亀裂、ネジ部潰れ、ボルト伸びなど)が無い点検する。
・特に新品から4年以上経過したボルト、ナットは入念に点検する。

2 著しい錆や損傷があるものは交換

・自社で交換できない場合は交換の必要性を報告する。

(左)著しい錆や汚れによりナットとワッシャーが固着
(右)著しい錆や汚れが付着

3 潤滑剤(エンジンオイル等)を薄く塗布

・清掃及び潤滑剤を塗布しても、スムーズに回らないボルト、ナットは交換する。

ホイールボルト
潤滑剤
ワッシャー付きホイールナット
ナットとワッシャーの間(接触部)に潤滑剤を忘れずに塗布し、スムーズに回転するか点検する。

4 適正トルクでの締め付け

5 タイヤ交換作業管理表に沿った作業及び報告

・国土交通省が示しているタイヤ交換作業管理表に沿った作業を実施し、依頼者へ報告する。

※依頼者へ渡した報告書類等は、作業店においても保管することを推奨します。

不適正な作業は、作業者の責任を問われる可能性があります。

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
全国タイヤ商工協同組合連合会
後援:国土交通省

車輪脱落事故に関する情報はコチラ(国土交通省)

ドライバー及び運送事業者へ「法令で規定された増し締め及び日常点検時のボルト、ナットの緩みの点検」の呼びかけをお願いします。
運送事業者等への増し締めの呼びかけチラシはコチラ▲

週刊タイヤ新報転載許諾済